

# の門出を祝う

はたちの門出を祝う成人式が、一月十五日午前十時三十分から、市民会館ホールで行われました。この日、市内で晴れておとなの仲間入りをしたのは、五百四十九名(男二百七十二名・女二百七十七名)でこのうち、二百三十名が式に出席しました。

式は、成人を祝して、市社会福祉協議会長渡辺利一郎氏のあ

## なの仲間入り

549名

力、たくましく意志、もゆる情熱とをもって、この混迷する社会を明るく希望にみちた世の中に転換させる原動力となつていいた「ききたい」とあいつしました。

引き続き、市社会協議会から、成人を代表して長谷川親子さん(上植野町地後)に記念品が贈られたあと、清水勲さん(森木町四ノ坪)が、「社会を構成する一員として参加す



(新成人と握手して祝福する中山市長)



# 20歳の抱負……

まず、わたしたちは幸せにも成人の日を無事迎えさせていただき、健全な身体と心を持って仕事や学問に励めることを感謝いたします。

わたしたちは、成人したことにより、社会を構成する一員として、何らかの形で社会活動に参加する機会を与えられました。例えば選挙権などもその一つです。しかし、自由や権利が与えられたら、それに伴って、責任と義務を果さなければなりません。したがって、社会人としての責任と自覚をもって、社会とともに前進していきたいと思ひます。

しかしながら、インフレ、不況といわれている今日、わたしたち未熟者にとっては、それらを

テレビなんかで、二十歳の人を対象に、二十歳になつての感想はとか、二十歳になつての抱負は、なんてよくインタビューしているが、これもそのころわたしは、それを見て、なぜみんなそんな二十歳になることを重要視するのだろう、十九歳から一つ年をとつただけじゃないかと、不思議に思つていた。

けれど、自分自身が二十歳になつたら、なにかやはり十九歳とは違うものを感じる。もちろん法的には、れっきとしたおとなの仲間入りなのだ、それだけではない、なぜかじつといていられないな、という感じがする。

わたしは今、短大生ですが、今

克服していくことは、一層困難なことです。また、わたしたちが、これから歩もうとしている社会に生じているいろいろな問



(植田美恵子さん)

い。もし四年制の大学に行つていれば、これほど二十歳という年齢を意識しなかつたとも思ふ。今まで二十年間、アルバイト

**責任のある行動を**  
短い青春を有意義に



(エ)



(清水 勲さん)

題、例えば金銭問題などが、わたしたちの市に及んでいないだろうかと疑いを抱いたり、不安になつたりすることもあります。

**責任と自覚で前進を**  
未知のものに打ち勝とう



(カ)



(オ)



す。とにかく、わたしたちにとっては、すべてが未知のものになるのです。

しかし、わたしたちは、しりごみばかりしないで、若者だからもつ活気あふれる意気とたくましい行動力、さらに善悪をみきわめる思考力をもって、それらに打ち勝つていかなければならないのです。ところが、わたしたちはまだまだ無経験で、無知で、血気にはやつた行動をとつたりすることもありますから、そんなときは、よき理解者として、先輩のみなさまのご指導、ご助言を下さいますようお願いいたします。

のほかは、世間らしい世間や、社会に出たこともなく育つたわたしは、二十歳となつた今、社会人となり、大きな人生の転換期を迎えたいような気がする。

二十歳の抱負という、そんなたいそうなものはないが、責任ある行動をとるということだけは、実行していきたいと思ふ。今まで、世間知らずで生活してきたわたしにとって、「責任ある行動」ということは、大変重要なわずかしい課題だと思ふ。また、行動も慎重でありたいと思ふ。

そして二十歳になると年をとるのが早いといわれるが、この短く貴重なそして第二の青春でもあるこの時期を有意義に悔いのないように過ごしていきたい